

平成 30 年度 (2018)

京都大学

Kyoto University

博士課程教育リーディングプログラム

Program for Leading Graduate Schools

グローバル生存学大学院連携プログラム

Inter-Graduate School Program for

Sustainable Development and Survivable Societies

Global Survivability Studies Program (GSS)

募集要項

Application Guideline

平成 30 年度

Academic year 2018



京都大学大学院横断教育プログラム推進センター

グローバル生存学リーディング大学院

京都市左京区吉田中阿達町 1 番地 京都大学東一条館

Center for Educational Program Promotion in Graduate School

Leading Graduate School for Sustainable Development and Survivable Societies

Kyoto University Higashi Ichijokan, Nakaadachicho1, Yoshida, Sakyo-ku, Kyoto

Tel: 075-762-2163

<http://www.gss.sals.kyoto-u.ac.jp>

グローバル生存学大学院連携プログラムについて (アドミッション・ポリシー)

幅広い知識と深い専門性、柔軟な思考力と強い意志・実行力を合わせ持ち、様々な社会においてリーダーとして活躍する人材を養成することは、京都大学の使命であるとともに、産官学各界ひいては社会全体の強い要請でもある。

「グローバル生存学大学院連携プログラム」は、京都大学における9つの研究科と3つの研究所が協働し、産業界、行政機関、国際機関、国内外の大学等と協力して、安全安心分野の先進的・学際的な大学院教育を展開し、グローバル社会のリーダーたるべき人材の育成を強力に推進する。

現代の地球社会は、①巨大自然災害、②突発的人為災害・事故、③環境劣化・感染症などの地域環境変動、④食料安全保障などの危険事象や社会不安がますます大きく、かつ、広がっている。この「グローバル生存学大学院連携プログラム」では、これらの諸問題をカバーする「グローバル生存学」という新たな学際領域を開拓し（図1）、

1) 人類が直面する危機を乗り越え、人間社会を心豊かにし、その安寧に貢献するという使命感・倫理観にあふれた人材

2) 自らの専門性に加えて幅広い視野と知識・智慧によつて的確に対策を行うことのできる判断力・行動力を備えた人材

を育成する。

グローバル生存学大学院連携プログラムの修了者は、

- 一級の研究者・教育者として社会・安全システム科学分野で活躍するアカデミック・リーダー
 - 国際機関などの世界を舞台に活躍する国際的な危機管理リーダー
 - 災害・事故や経済危機を的確に対処し、企業経営を安定的・持続的に行う企業リーダー
 - 食料・資源・エネルギーなどの安全保障政策の決定に指導力を発揮する国や地域のリーダー
 - 社会の安心安全に寄与するための科学的知識・情報を伝えるサイエンス・コミュニケーター
 - 安全安心分野で新たな技術や方法論を開発して起業するニュービジネス・リーダー
- などであつて、各方面で世の中を支え、良い方向に動かしていくことのできる「人財」である。

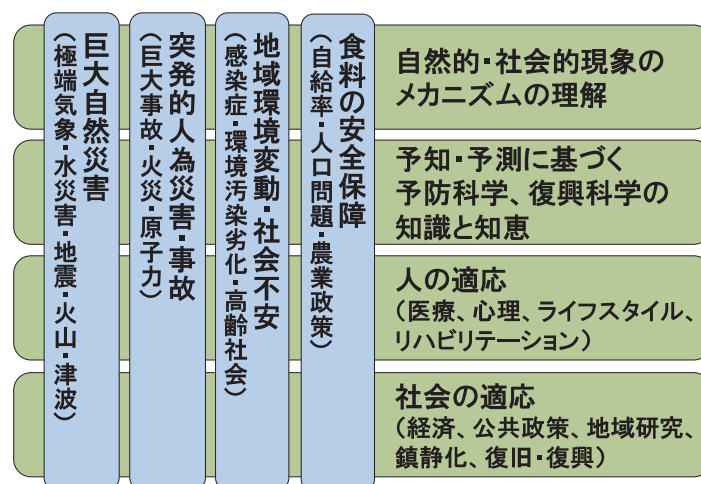


図1 グローバル生存学の範囲

上記のようなリーダーを志す有能な若者を本プログラムに迎え、充実した **5 年一貫制の大学院教育**によって有為な人材を育成し世に送り出し、地球社会の調和ある共存に貢献する、というのが京都大学の願いである。

このプログラムは、各学生が所属する研究科の教育制度に定める学位課程に加えて、多くの付加的な履修項目を要求する。

1. 募集人員

プログラム履修者 20 名

2. 出願資格

平成 30 年 4 月に表 1 の研究科・専攻の博士前期課程（修士課程）あるいは前後期一貫の博士課程に入学した者。

表 1 グローバル生存学大学院連携プログラムに参画している研究科・専攻

教育学研究科	全専攻(教育学環専攻)
経済学研究科	全専攻(経済学専攻)
理学研究科	地球惑星科学専攻
医学研究科	医学専攻、社会健康医学系専攻
工学研究科	社会基盤工学専攻、都市社会工学専攻、都市環境工学専攻、建築学専攻、機械理工学専攻
農学研究科	全専攻(農学専攻、森林科学専攻、応用生命科学専攻、応用生物科学専攻、地域環境科学専攻、生物資源経済学専攻、食品生物科学専攻)
アジア・アフリカ地域研究研究科	全専攻(東南アジア地域研究専攻、アフリカ地域研究専攻、グローバル地域研究専攻)
情報学研究科	社会情報学専攻、通信情報システム専攻
地球環境学堂・学舎	全専攻(地球環境学専攻、環境マネジメント専攻)

3. 出願書類・募集要項の請求

以下の(1)、(2)を大学院横断教育プログラム推進センター・グローバル生存学リーディング大学院において配付する。

- (1) 願書 1 式
- (2) 募集要項 1 部

配付場所： 京都市左京区吉田中阿達町1 番地 京都大学東一条館1 階
 京都大学大学院横断教育プログラム推進センター
 グローバル生存学リーディング大学院 事務室 電話：075-762-2163・2164
 配付期間： 平成 30 年 3 月 1 日（木）～ 4 月 18 日（水）平日午前 9 時から午後 5 時

4. 出願手続

大学院横断教育プログラム推進センター・グローバル生存学リーディング大学院に願書等一式を持参し提出すること。持参できない場合は、封筒の表に「出願書類在中」と朱書きのうえ配達状況が記録される方法（書留郵便等）で提出すること。4月18日（水）午後5時必着

- (1) 願書 1式
- (2) 出身大学の学業成績証明書
- (3) 英語検定試験の成績表

平成28年4月以降に受験したもので平成30年4月18日までに提出可能な英語検定試験の成績（TOEFL、TOEIC、IELTS）。

- ・ TOEFLの場合はTOEFL - iBT（internet-Based Test）、またはTOEFL - PBT（Paper-Based Test）、TOEICの場合は日本または韓国で実施されるTOEIC公開テストのみ受け付ける。TOEFL - ITPやTOEIC - IPなどの団体試験の成績証明書は無効となるので注意されたい。
- ・ 成績証明書は原本に限り、コピーは受け付けない。また、後日書類に不正が認められた場合には合格を取り消すことがある。

提出場所：〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達1番地 京都大学東一条館
京都大学大学院横断教育プログラム推進センター
グローバル生存学リーディング大学院 事務室 電話：075-726-2163・2164
受付期間：平成30年4月13日（金）～ 4月18日（水）平日午前9時から午後5時

5. プログラム履修者の選抜方法

願書、出身大学の学業成績及び英語検定試験の成績による書類審査によって選抜する。ただし、必要に応じて面接審査を行うことがある。

※ 面接審査の日時は、平成30年4月24日（火）までに願書に記載のメールアドレスに通知し、面接は4月25日（水）に行う。

6. プログラム履修者の合格発表

プログラム履修者の合格発表は、5月11日（金）にホームページにおいて行う。

7. 個人情報の取り扱いについて

取得した個人情報は、プログラム履修者の選抜および履修に伴い必要となる業務のために、「京都大学における個人情報の保護に関する規程」の定めるところにより取り扱う。